

上村松園  
「雪」東京国立近代美術館蔵



上村松堂  
「孔雀」京都市美術館蔵



樂吉左衛門  
「焼貫黒樂筒茶碗」樂美術館蔵



# 京の 美意識

伝統の検証者たち

平成18年 10/6金—11/5日

開館時間●午前9時～午後5時(金曜日は午後8時まで)※入館は閉館30分前まで 休館日●10月16日(月)、30日(月)  
観覧料●一般900円(800円)、大・高生600円(550円)、中・小生400円(350円)( )内は前売 発売は10月5日(木)まで※30名以上の団体は2割引  
主催●福井県立美術館・福井新聞社 企画監修●上村淳之氏(日本画家) 後援●県内各市町教育委員会、NHK福井放送局、FBC福井放送、福井テレビ、FM福井  
講演会(無料)●10月14日(土) 樂吉左衛門氏(陶芸家)「伝統と創造 長次郎・樂歴代と私」 10月21日(土) 上村淳之氏(日本画家)「本展企画監修者」日本画の余白について  
10月28日(土) 中村昌生氏(建築家)「伝統から創作へ」※いずれも午後1時30分より当館講堂にて  
学芸員によるギャラリートーク●10/22(日)、11/4(土) ※いずれも午後2時より会場にて

福井県立美術館

〒910-0017  
福井市文京3-16-1  
TEL : 0776-25-0452  
FAX : 0776-25-0459

徳岡神泉

「池」京都市立近代美術館蔵



中村昌生

「花フエス夕記念公園茶室」岐阜県可児市



小野竹喬

「沼」京都市美術館蔵



下保昭

「噴煙普賢」富山県水墨美術館蔵



上村淳之

「晴れ間」松伯美術館蔵





徳岡神泉「緋鯉」個人蔵



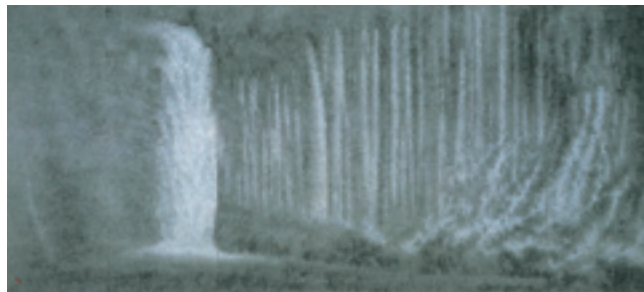
小野竹喬「仲秋の月」笠岡市立竹喬美術館蔵



上村松篁「春輝」松伯美術館蔵



中村昌生「出羽遊心館」山形県酒田市



下保昭「白糸白韻」(左隻) 富山県水墨美術館蔵

# 美意の京識

平成18年10/6金—11/5日  
伝統の検証者たち

平安遷都以来日本の都であった京都は、同時に日本の伝統文化の中心地でもありました。千年以上もの長い歴史の中に培われ洗練されてきた美意識は、数多くの優れた作家や作品を育んできました。しかし、日本人の生活や思想が急激に変化している現在、それへの関心や継承が著しく薄れ、伝統を支える美意識が揺らいでいることは否めません。

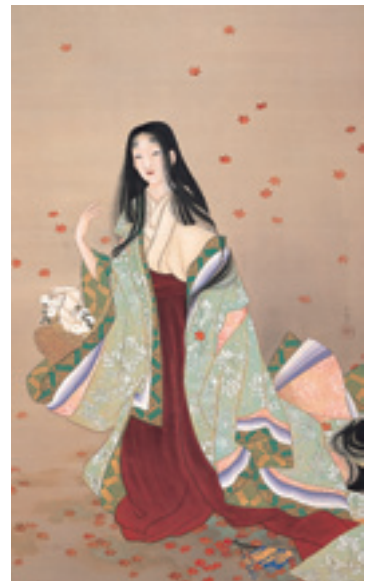
本展は上村松園(1875～1949)、小野竹喬(1889～1979)、徳岡神泉(1896～1972)、上村松篁(1902～2001)ら4人の物故日本画家、および日本画家の下保昭(1927～)、上村淳之(1933～)、伝統建築家の中村昌生(1927～)、そして陶芸家の樂吉左衛門(1949～)の4人の現代作家たちで構成されるものです。いずれも文化の都である京都を中心に、伝統を見据えた活動で大きな足跡を遺した作家、そして現在も第一線で活躍中の作家たちです。彼らの作品を通して、創作活動における伝統の意義と、京に息づく美意識に伝統の創造力を見つめる展覧会です。

※会期中に一部展示替えがございます。

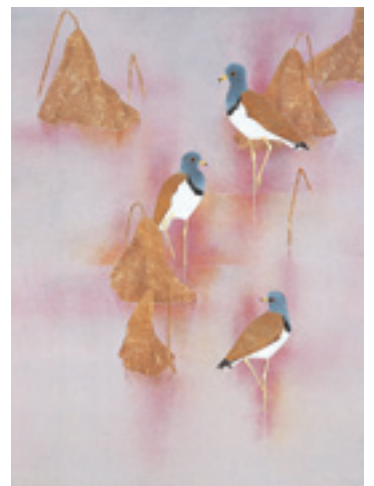
## ●同時開催

所蔵品によるテーマ展

「現代の表現者たち」(本展チケットでご覧いただけます)



上村松園「花がたみ」松伯美術館蔵(10/21～11/5まで展示)



上村淳之「蓮池の冬」個人蔵



樂吉左衛門「黒樂茶碗 三星在隅」樂美術館蔵



## 交通のご案内

- コミュニティバスすまいる/福井駅前(西口)のりばより、田原・文京方面線約10分「県立美術館」下車。
  - 京福バス/JR福井駅前(西口)10番のりばより、福井病院・藤島線(26系統)約10分「藤島高校前」下車(※土日は運休)。
  - 車/福井駅前より約8分、北陸自動車道福井北ICより約15分。
  - 福井鉄道・えちぜん鉄道/[田原町駅]下車徒歩8分。
- ※ご来館の際は、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。お車の際はアイドリングストップにご協力下さい。

## 福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL: 0776-25-0452 FAX: 0776-25-0459  
<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>